

# みんなと一緒にまちづくりを 子どもたちがまちづくり体験



## 新聞記者のようにインタビュー！

「ブックストリート」でまちづくりを行っている方にインタビュー。おすすめ本コーナーづくりも体験しました。



## チョークで楽しい商店街にしよう！

子どもたちにイラストを描いてもらい楽しい商店街づくりを考えました。

## ワークショップに参加した子どもたちの感想

楽しかった！

どんな絵を描いたら  
お客さんがきてくれ  
るかを考えたよ！



友だちができた

他の学校の子と仲良  
くなれて、まちのこと  
をたくさん知ったよ！



まちづくりを身近に感じてもらうための取り組みとして、7月28日に大麻銀座商店街で夏休みイベント「ブックストリート」を体験してみました。「ブックストリート」を盛り上げました。

## 市民が主役の まちづくりを推進

平成21年7月に「江別市自治基本条例」が施行されて10年目を迎えました。その間に、「江別市議会基本条例」や「江別市市民参加条例」が施行されるなど、市民自治の実現に向けた取り組みが進められています。

## 協働とは？

江別市自治基本条例の中で掲げている基本原則の一つ「市民参加・協働」の「協働」とは、一人一人がそれぞれの役割や責任を理解し、互いに尊重しながら、協力して取り組むことを言います。

例えば、道路のごみ拾いや花壇の整備、読み聞かせボランティア、防犯パトロールのほか、災害時の助け合いや自治会活動、地域の方とのあいさつなど、よりよいまちにするために取り組んでいることが協働です。身近なことから協働を始めてみませんか？

【詳細】市民生活課（市民協働担当） ☎ 381-1124

## 自治基本条例リーフレットを配布中！

市内4大学の学生と協働で作成した、自治基本条例リーフレットを配布しています。パンのデザインに注目です。



## まちづくりに関する資料を公表中

自治基本条例条文と解説、自治基本条例検討委員会提言書を受けての取り組み状況、市民参加予定事業一覧を公表しています。

**配布・公表場所** 市役所情報公開コーナー、各公民館、情報図書館など。市ホームページでもご覧いただけます。



## 江別市自治基本条例 ってなに？

「江別市自治基本条例」とは、江別のまちづくりをどのように進めていくか、どんな方法で進めていくかを定めたものです。市民一人一人がまちづくりを進めるための条例です。なお、市民参加の方法を具体的に示したものが、「江別市市民参加条例」です。

## 自治会活動で住みよいまちに

自治会では、子どもの見守り活動や、防災活動、防犯灯の維持管理、集団資源回収、花壇づくり、ラジオ体操、夏祭り、出産・敬老のお祝いなど、住みよい豊かな地域づくりに関する活動を行っています。加入は、ご近所の区(班)長にお声かけください。区(班)長が分からない場合は、下記へお問い合わせください。

【詳細】江別市自治会連絡協議会事務局（市民生活課内） ☎ 381-1018

自治会に加入  
しましょう！





## 平成29年度 決算概要

収益は、入院、外来ともに診療単価は前年を上回ったものの、患者数が前年を大幅に下回ったことから、病院事業収益全体では、前年度から約4億円の減収となりました。

費用は、職員数の減少により給与費が減少し、診療材料費や医薬品の価格削減を進めたことで材料費も減少しました。このことにより、病院事業費用全体では、前年度から約1億7400万円減少しました。

平成29年度は、昨年度から導入したDPC制度や地域包括ケア病棟の効率的な運用による収益改善を目指しましたが、計画値を達成できず、結果として不良債務が増加することとなりました。

今年度も引き続き、病院自らの経営努力で目標を達成できるように、職員一丸となって経営改善を進めます。

☎ 詳細 市立病院管理課財務係  
382-5151

### 平成29年度の決算と前年度の比較増減

区分	平成29年度	平成28年度	比較増減
病院事業収益	65億 500万円	69億 1,100万円	-4億 600万円
病院事業費用	72億円	73億 7,400万円	-1億 7,400万円
単年度純損益	-6億 9,500万円	-4億 6,300万円	-2億 3,200万円

平成29年度は、新公立病院改革プランに基づいた経営改善の取り組みを進めましたが、医師の減少が大きく影響し、収益が大幅に減少しました。診療材料の切り替えなどにより材料費を削減できたことから、病院事業費用も前年度より減少しましたが、収益の減少をカバーするには至らず、損失を計上することになりました。

区分	平成29年度	平成28年度	比較増減
一般会計繰入金	13億 9,500万円	13億 9,600万円	-100万円
累積欠損金	-89億 6,900万円	-82億 7,400万円	-6億 9,500万円
不良債務残高	10億 3,700万円	2億 6,300万円	7億 7,400万円

市立病院は、地域における基幹的医療機関として、救急患者の受入れなどの採算性の低い医療を担っているため、江別市一般会計から繰入金を受けています。平成29年度は、計画どおりの収益を確保することができなかつたため、平成28年度に続き不良債務および累積欠損金が前年度より増加しました。

区分	平成29年度	平成28年度	比較増減	
延患者数	入院	8万 213人	9万 369人	-1万 156人
	外来	16万 4,483人	17万 725人	-6,242人
病床利用率	一般	70.1%	76.8%	-6.7ポイント
	精神	42.1%	57.6%	-15.5ポイント
	全体	65.2%	73.5%	-8.3ポイント

平成29年度は、入院患者数が大きく減少し、これに伴い病床利用率も大幅に前年度を下回りました。また、外来患者数も減少となりました。

### 平成29年度の取り組み

#### ▼収益改善の取り組み

平成28年度に策定した新公立病院改革プランに基づき、地域包括ケア病棟の効果的な運用、認知症ケアに関する他職種連携などによる収益改善に向けた取り組みを実施しました。

#### ▼医療提供体制の整備

前年度末に退職した総合内科医を補うための独自採用、専門医の招へいに積極的に取り組みましたが、期待した効果を上げられず、結果として前年度より医師数減員の診療体制となりました。これにより患者数、診療収益がともに大きく減少することになりました。

#### ▼費用削減の推進

診療材料の切り替えや価格交渉、前年度から継続して取り組んでいる後発医薬品への切り替えにより、材料費の削減を実現しました。職員数の減少による給与費の減少もあり、費用全体としては削減されましたが、収益の減少をカバーするには至りませんでした。